

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-167	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
231 いいずな	CⅡ 231-901	New Rays English Communication Ⅱ Revised Edition		

1. 編修の基本方針

この教科書を通して、**多文化共生時代を生きるために求められる生徒一人ひとりの「たくましさ」と「しなやかさ」**を育てることを編修の基本方針としました。

たくましさ：自分で考え、判断し、行動する力（自己表現力）

しなやかさ：異なるものと向き合い、協働を通してさまざまな問題を乗り越える力（対話力）

本教科書では、①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力」③「主体的かつ対話的に学習に取り組む態度」の3つの観点を通して、「たくましさ」と「しなやかさ」という2つの資質を育てることができるよう工夫しました。

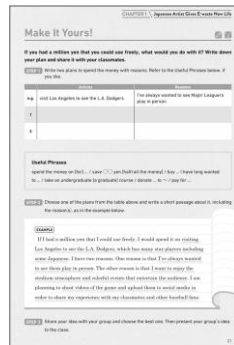
①「知識・技能」の観点（第1号）

- ・英語表現するための語彙力、文法力、慣用表現力を育てる。
- ・英語の言語資源を使って、さまざまなタスクを行う力を育てる。
- ・英語でのアウトプット（スピーキングとライティング）とインプット（リスニングとリーディング）のためのスキルを鍛える。

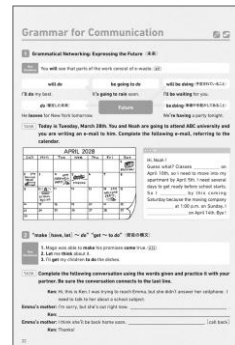
→本文で学習した内容や文法を使って、各課末のさまざまな表現活動を行います。**Vocabulary Networking** では、本文に出た語句とその関連表現を整理し、TASKを通して身につけることができます。



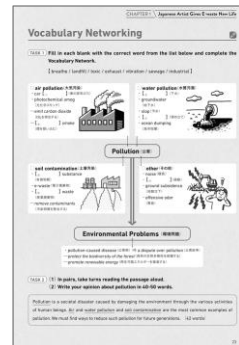
Recap & Retell
(内容理解)



Make It Yours!
(発信活動)



Grammar for Communication
(文法)



Vocabulary Networking
(語彙)

②「思考力・判断力・表現力」の観点（第4号、第5号）

- ・問題を把握し、「何ができ」「何をすべきか」を構想する状況把握力を育てる。
- ・物事を論理的に思考する力を育てる。
- ・現象を分析し、傾向性や因果関係などを見抜く分析力を育てる。
- ・大きな問題の中から本質的なリサーチ・クエスチョンを引き出す問題発見力を育てる。
- ・英語での事物描写、比較記述、物語展開、会話管理などを通して、自己表現力・対話力を育てる。

→CHAPTER 導入ページに英文の形式を表すアイコンと導入文を入れました。本文で何をとらえるべきかを理解したうえで英文を読むことができます。また、本文下にある **Comprehension Check** の質問に答えることで、話の展開や問題をとらえ、自己表現力を育てることを目指します。



アイコン

導入文

CHAPTER 導入ページ



Comprehension Check 質問

本文ページ

③「主体的かつ対話的に学習に取り組む態度」の観点（第2号、第3号）

- ・「なすべきこと」について行動計画を立て、それを実行する力を育てる。
- ・他者との協働を通して新たな可能性を創り出す共創力を育てる。

→本文下にある **THINK PAIR SHARE** マークの発信 QUESTIONS の活動をペアまたはグループで行うことで、他者と話し合っ
て答えを導き出す実行力を養います。また、**Make It Yours!**では他者と協働して行う活動を取り入れました。



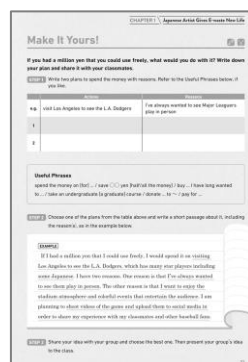
本文ページ

発信 QUESTIONS

THINK : 1人で考える

PAIR : 2人で話す

SHARE : 複数で話す



Make It Yours!

Make It Yours!の活動例

- ・プレゼンテーション
- ・ショーアンドテル
- ・手紙の作成
- ・ノート作成
- ・スキット作成
- ・翻訳

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
CHAPTER 1 Japanese Artist Gives E-waste New Life 先進国から投棄された電子廃棄物を使ってアートを制作し続ける長坂真護氏。彼が作品を通じて訴えようとしているメッセージについて知る。	長坂氏の活動を通じて、ガーナのラグボグプロシーの人々が置かれている現状や、先進国の豊かな生活の裏側で起きている問題について理解を深める。また、長坂氏が自身の得意分野であるアートを活用して問題解決に取り組んでいる姿勢を知り、社会貢献の在り方について考える。(第1号、第3号)	pp.8-23
CHAPTER 2 Stationery: Changing Our Lives for the Better 私たちにとって身近な文房具の開発や発展の歴史を学び、その未来について考える。	私たちが毎日使っている文房具には、日本のメーカーや開発者がさまざまな工夫を凝らしてきたことが反映されていることを知り、我が国のものづくり文化のすばらしさを改めて感じる。(第5号)	pp.24-37
CHAPTER 3 Salt: More than Just a Seasoning	身近な食材である塩を通じて、生物の進化や人体の神秘、さらには過剰摂取による病気などについて考え、生命を尊ぶ姿勢を養	pp.38-51

塩は人間を含むすべての生物にとって、生命維持に欠かせないものである。生物と塩との関係について、生物の進化をさかのぼって考察する。	う。(第4号)	
CHAPTER 4 The Story of Holly Butcher	「今、生きている瞬間を大切にしてほしい」というホリーさんのメッセージを通じて、自分や他者を思いやり、大切にする姿勢を養う。(第3号)	pp.52-65
27歳の若さで亡くなったホリーさんが遺した最後のメッセージを通じて、私たちの日常の出来事がいかに価値があり、かけがえのないものであるかを実感する。		
CHAPTER 5 From Overtourism to Sustainable Tourism	観光が観光客や地域社会に与える影響を知り、すべての人にとって持続可能な観光とは何かを考える。(第5号)	pp.66-81
オンライン会議での発言を通じて、世界各地におけるオーバーツーリズムの実情とその取り組みを知る。		
CHAPTER 6 Living Well with Your Smartphone	スマホ依存は、心身ともにさまざまな弊害をもたらし、使用者のワークライフバランスやウェルビーイングを脅かす。デジタル・デトックスのメリットや実践方法について知り、自身のデジタル機器との向き合い方を再考する。(第1号、第2号)	pp.82-97
私たちの生活に欠かせないツールとなったスマートフォン。便利さの一方で、スマホ依存になっている人も多い。スマートフォンとの上手な付き合い方を考える。		
CHAPTER 7 Factfulness : The World Is Not So Simple	『ファクトフルネス』に書かれているギャップ本能、ネガティブ本能、直線本能を知ることによって、世界の問題を異なる視点から捉える大切さを学ぶ。(第1号)	pp.98-113
『ファクトフルネス』を紹介した文章を読み、どのようなデータを活用し、どのように相手に伝えることが物事や世界情勢の正しい理解につながるのかを考える。		
CHAPTER 8 The Psychology of Everyday Experience	社会心理学が私たちの社会的交流を促進するものであることを理解することによって、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養う。(第3号)	pp.114-129
日常のさまざまな例を通じて、私たちの行動や心理の多くには、社会心理学の理論に基づいた理由が存在することを知る。		
CHAPTER 9 Minority Pride: Preserving Ainu Folklore	知里幸恵さんの取り組みを通じて、文化や言語の消滅が意味するものについて考える。また、世界の少数民族や少数言語が直面する問題に関心を寄せる。(第5号)	pp.130-147
滅びつつあったアイヌ語を守るために奮闘したアイヌの少女、知里幸恵さんを通じて、アイヌの伝統、文化、言語の豊かさを知る。		
CHAPTER 10 Experiencing a New Geological Era	人類の活動が地球をどのように変えたかを反映するため、「人新世」と呼ばれる新たな地質時代を設ける提案がなされたことを知り、私たちにできることを考える。(第4号)	pp.148-163
私たちが生きる時代、「人新世」とは何か、そして人類が地球に与えている影響について知る。		
READING PASSAGE 1 The Bracelet	物語の感想を話し合うことで、豊かな情操と道徳心を養う。(第1号)	pp.164-170
ある生徒と先生との心温まる交流を読む。		
READING PASSAGE 2 Hokusai: Art That Makes Waves	葛飾北斎の作品が国内だけでなく海外でも高く評価される理由を、北斎の生涯を通じて読み解く。(第1号、第5号)	pp.171-181
葛飾北斎の代表作「神奈川沖浪裏」が、同時代の絵師だけでなく現代アートにも影響を与えたことを知る。		

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① 高校での英語学習のサポート

- ・小学校・中学校との接続を円滑にするために、文構造・文法事項については中学校までに学習したものについても取り上げました。
- ・本文横の新語のうち、ぜひ覚えておきたい重要なものを太字にし、チェックマークを付けました。また、イディオムの例文を巻末の **Idiom Sentences** に掲載しました。
- ・正課に入る前に、「単語を関連づけて学ぼう」というコーナーを設けました。具体的な場面を設定し、効果的な学習方法を学びます。
- ・巻末に **Skills for Presentation [Debate-in-Discussion, Outlining]** のコーナーを設けました。活動を通して各スキルの定着を図ります。

② 主体的な学びのための工夫

- ・新語・イディオムと本文の音声教科書の二次元コードを通して利用できるようにしました。教科書の音声をいつでも聞くことができます。
- ・題材に関連する動画は、二次元コードを通じて視聴できます。題材で取り上げた人物のインタビューや風景などを通じて、本文をより深く理解することができます。
- ・**FYI** のコーナーでは、題材の背景知識や発展情報を解説し、主体的な学びを促進する工夫を取り入れました。
- ・巻末に「**Expressions for Writing, Discussion, and Debate**」のコーナーを設け、ライティング、ディスカッション、ディベートに必要な表現をまとめました。

③ 題材の選定

- ・題材の選定にあたっては、性別や人種、特定の世界観や宗教に偏らないように努めました。また、国際貢献、技術、食、生き方、観光、スマートフォン、データ科学、心理学、言語・文化、環境、教育、芸術・歴史など、さまざまな分野から選び、学習者の興味・関心を広げることができるように配慮しました。
- ・題材の形式については、説明文、エッセイ、対話文、プレゼンテーション、物語文、スピーチなどを取り入れ、さまざまな形式の英文に触れることができるようにしました。さらに説明文はインターネット記事、雑誌記事、パンフレット、入門書、評論などの具体的な場面を設定し、オーセンティックな英文になるよう心がけました。

④ 環境への配慮

- ・管理された森林資源を使用するなど、再生可能で環境にやさしい原料や製法で作られた用紙を使用しています。
- ・植物由来の油、およびそれらを主体とした廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ植物油インキを使用しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時間数表)

受理番号	学校	教科	種 目	学年
107-167	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
231 い い す な	CⅡ 231-901	New Rays English Communication Ⅱ Revised Edition		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

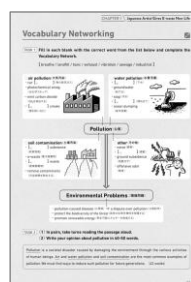
①高等学校外国語科の目標を実現するための工夫

(1) 外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの理解を深めるとともに, これらの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)

⇒「外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの理解を深める」ことを目的に, **Skills for Presentation** [Debate-in-Discussion]のコーナーを設けました。また, **Vocabulary Networking** では, 本文に登場した語句とその関連表現をネットワーク形式でまとめ, 自分の意見を書く際に活用できるようにしました。

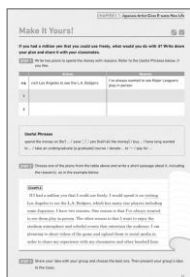


Skills for Presentation



Vocabulary Networking

⇒「目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける」ために, **Make It Yours!**のコーナーを設けました。**Make It Yours!**では本文で学んだことを使って, スピーチ, プレゼンテーションなどの活動を行います。また, **Grammar for Communication** では, これまでに学習した文法項目をネットワーク形式でまとめ, 適切に活用できるよう工夫しました。



Make It Yours!



Grammar for Communication

(2) コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。(思考力, 判断力, 表現力等)

⇒「コミュニケーションを行う目的や場面, 状況など」を実現するために, 対話形式の話題を取り入れるとともに, 説明文にも具体的な場面を設定しました。また, 話題については, 日常のおよび社会的なテーマを幅広く扱い, 学習者の興味・関心を広げるよう工夫しました。

CONTENTS	
1	Japanese Anime Goes E-mote New [A] 100-105
2	Slowly Changing Our Lives for the Better [A] 106-111
3	Salt: More Than Just a Seasoning [A] 112-117
4	The Story of Holly Barker [A] 118-123
5	From Overreaction to Sustainable Reaction [A] 124-129
6	Living Well with Your Smartphone [A] 130-135
7	Fantabulous! The World Is Not So Simple [A] 136-141
8	The Psychology of Everyday Experiences [A] 142-147
9	Minority Pride: Preserving Race Culture [A] 148-153
10	Experiencing a New Geological Era [A] 154-159
11	The Broadest [A] 160-165
12	Hakone: Art That Makes Waves [A] 166-171
目次ページ 100-171	

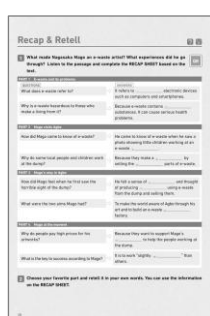
形式：説明文（インターネット記事、雑誌記事、新聞記事、パンフレット、入門書、
評論）、エッセイ、対話文、プレゼンテーション、物語文、スピーチ
話題：国際貢献、技術、食、生き方、観光、スマートフォン、データ科学、心理学、
言語・文化、環境、教育、芸術・歴史

目次ページ

- ➡ 「情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする」ために、本文下に **Comprehension Check** と **THINK-PAIR-SHARE** の質問を設けました。また、本文後の **Recap & Retell** のコーナーでは、本文の内容をまとめたうえで、自分の言葉で伝える活動を行います。



本文ページ



Recap & Retell

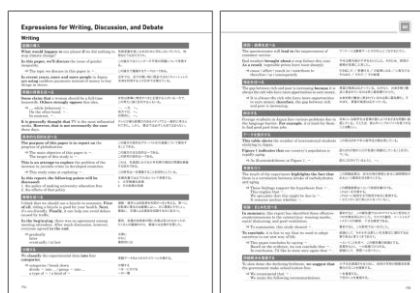
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

- ➡ 二次元コードを通して、教科書本文と新語・イディオムの音声を聞くことができます。また、「外国語の背景にある文化に対する理解を深める」ために、**FYI** (For Your Information) のコーナーでビジュアル情報や背景知識などを取り上げました。



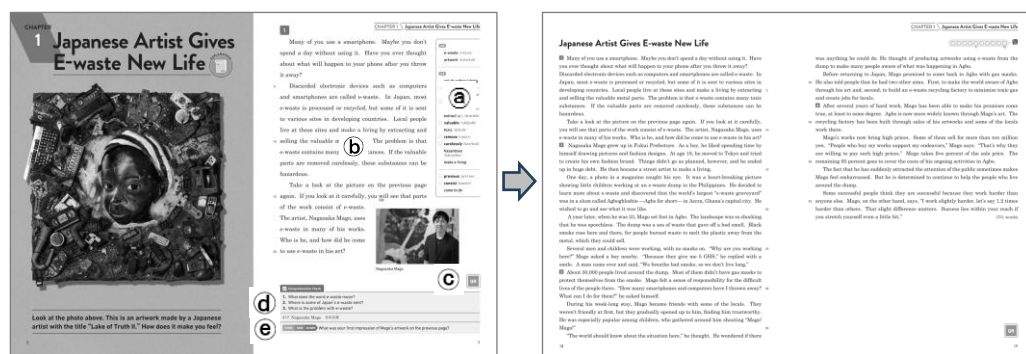
FYI(For Your Information)

- ➡ 「聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う」ために、実際のコミュニケーションで役立つ表現集 **Expressions for Writing, Discussion, and Debate** を巻末に収録しました。



Expressions for Writing, Discussion, and Debate

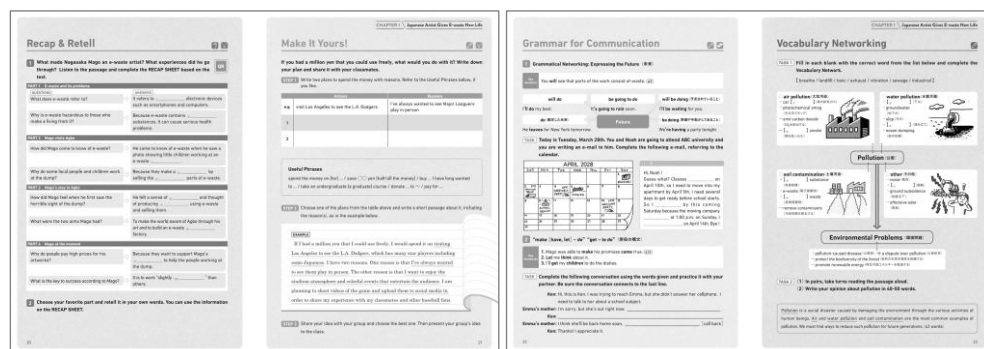
② 各 CHAPTER の構成



① CHAPTER 導入ページ

② 本文ページ

③ 通読用英文



④ Recap & Retell (内容理解)

⑤ Make It Yours! (表現活動)

⑥ Grammar for Communication (文法)

⑦ Vocabulary Networking (語彙)

① CHAPTER 導入ページ	写真と導入文からどのような内容が想像してから本文を読みます。また、英文の形式をアイコンで示しました。	
② 本文ページ	① 側注	段落ごとに新語、イディオムの順で掲載しました。ぜひ覚えておきたい重要な語は太字にし、チェックボックスを付けました。また、品詞によって発音が異なる語(こは)などの品詞を示しました。
	② 本文	パートごとに掲載しました。文法ページで例文として取り上げている該当箇所には G1 G2 のマークを入れました。
	③ 二次元コード	新語・イディオムと本文の音声を聞くことができます。一部、関連動画も収録しました。
	④ 内容理解問題 Comprehension Check	各パートに2~3問の質問を設けました。本文の内容や展開をとらえているかどうかを確認します。
	⑤ 発信問題 THINK-PAIR-SHARE	各パートに1題、発信問題を設けました。質問の内容や進度に合わせて1人で考える THINK, 2人で話す PAIR, 複数で話す SHARE の活動を選択して行います。
③ 通読用英文	本文全体を掲載しました。通読や音読の練習に使います。	
④ Recap & Retell (内容理解)	音声を聞いて本文の内容をまとめた表を完成させたあと、自分の言葉で本文の内容を伝えるリテリングの活動を行います。	
⑤ Make It Yours! (表現活動)	本文で学んだ内容や表現を使って、スピーチ、プレゼンテーションなどの活動を行います。	
⑥ Grammar for Communication (文法)	本文に出てきた文構造・文法項目を使って、状況にふさわしい英文を完成させます。	
⑦ Vocabulary Networking (語彙)	本文に出てきた語句と関連表現をネットワークで整理します。さらに、ネットワークの語句を使って 40~50 語程度で自分の意見を書きます。	

2. 対照表・配当授業時間数表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容										該当箇所	配当時間
教材名	言語材料	(1) 英語の特徴やきまりに関する事項	(2) 情報整理しながら考えたり、形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項	(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項									
				①言語活動						②言語の働き			
				ア (中学との連携)	イ (聞く)	ウ (読む)	エ (やり取り)	オ (発表)	カ (書く)	ア 使用場面	イ 働き		
CHAPTER 1 Japanese Artist Gives E-waste New Life	未来を展望して語る 構文ネットワーク／ 使役の構文	ア, イ, ウ, エ	イ	ア,イ,ウ, エ,オ,カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ウ) 地域 (イ) インターネット	(ウ) 理由を述べる (エ) 推論する	pp.8-23	9
CHAPTER 2 Stationery: Changing Our Lives for the Better	現在を語る構文ネットワーク／完了形の受動態	ア, イ, ウ, エ	イ	ア,イ,ウ, エ,オ,カ	(ウ)	(ウ)	(ウ)	(ウ)	(ウ)	(ウ) 学校 (ウ) 雑誌	(ウ) 説明する (イ) 誘う	pp.24-37	9
CHAPTER 3 Salt: More than Just a Seasoning	判断などを表す形容詞ネットワーク／形式目的語構文	ア, イ, ウ, エ	イ	ア,イ,ウ, エ,オ,カ	(ウ)	(ウ)	(ウ)	(ウ)	(ウ)	(ウ) 家庭 (イ) パンフレット	(ウ) 例示する (エ) 仮定する	pp.38-51	9
CHAPTER 4 The Story of Holly Butcher	頻度を表す副詞ネットワーク／複合関係詞	ア, イ, ウ, エ	ア	ア,イ,ウ, エ,オ,カ	(ウ)	(ウ)	(ウ)	(ウ)	(ウ)	(イ) SNS (ウ) 手紙	(ウ) 言い換える (イ) 感謝する	pp.52-65	9
CHAPTER 5 From Overtourism to Sustainable Tourism	否定構文のネットワーク／冠詞の用法	ア, イ, ウ, エ	ウ	ア,イ,ウ, エ,オ,カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ウ) 地域 (ウ) オンライン会議	(ウ) 話題を変える (エ) 提案する	pp.66-81	9
CHAPTER 6 Living Well with Your Smartphone	名詞節の構文ネットワーク／動詞＋名詞＋過去分詞	ア, イ, ウ, エ	イ	ア,イ,ウ, エ,オ,カ	(ウ)	(ウ)	(ウ)	(ウ)	(ウ)	(ウ) 家庭・学校 (イ) インターネット	(ウ) 言い換える (ウ) 説明する	pp.82-97	9
CHAPTER 7 Factfulness : The World Is Not So Simple	過去を回想して語る 構文ネットワーク／ 付帯状況を表す with	ア, イ, ウ, エ	ア	ア,イ,ウ, エ,オ,カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ウ) プレゼンテーション (イ) 本	(ウ) 報告する (イ) 質問する	pp.98-113	9
CHAPTER 8 The Psychology of Everyday Experience	話し手の態度を表す 助動詞ネットワーク ／助動詞＋完了形	ア, イ, ウ, エ	ウ	ア,イ,ウ, エ,オ,カ	(ウ)	(ウ)	(ウ)	(ウ)	(ウ)	(ウ) 日常 (イ) 入門書	(エ) 提案する (エ) 推論する	pp.114-129	9
CHAPTER 9 Minority Pride: Preserving Ainu Folklore	比較構文のネットワーク／無生物主語構文	ア, イ, ウ, エ	イ	ア,イ,ウ, エ,オ,カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ウ) 地域 (ウ) 手紙	(イ) 驚く (イ) 感謝する	pp.130-147	9
CHAPTER 10 Experiencing a New Geological Era	仮定法の構文ネットワーク／倒置	ア, イ, ウ, エ	ウ	ア,イ,ウ, エ,オ,カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ウ) 地域 (ウ) スピーチ	(エ) 提案する (イ) 説得する	pp.148-163	9
READING PASSAGE 1 The Bracelet		ア, イ, ウ, エ	ア	イ,ウ,カ	(ウ)	(ウ)			(ウ)	(イ) 物語	(イ) 感謝する (ウ) 付け加える	pp.164-170	3
READING PASSAGE 2 Hokusai: Art That Makes Waves		ア, イ, ウ, エ	ア	イ,ウ,カ	(イ)	(イ)			(イ)	(ウ) 評論	(ウ) 描写する (エ) 推論する	pp.171-181	5
Skills for Presentation		ア	イ	ア, オ			(ウ)	(ウ)		(ウ) プレゼンテーション	(ウ) 説明する	pp.182-185	3
Skills for Debate-in-Discussion		ア, イ	ウ	ア, エ			(ウ)	(ウ)		(ウ) デイバート	(イ) 同意する	pp.186-189	3
Skills for Outlining		ア, イ	イ	ア, カ					(ウ)	(ウ) 学校	(エ) 主張する	pp.190-193	3
												計	107